

私達は、21世紀を生きる子供たちのためのBIRD-KISS(アートコミュニケーションプロジェクト)として、100種類の創作BIRDのぬり絵や折り紙を中心としたワークショップを各地で積極的に展開しています。「自分らしく、他人を認めあい仲良く」をテーマに、セルフエドケーション(しなやかで、自由で、生きること自体が、知らない間に、学ぶことになっているようなスタイル)の大切さを伝えていきたいと思っています。ぜひ、ホームページをご覧ください。 www.bird-kiss.com

生まれてくる新しい生命のために、1日限りのコウノトリBIRDワークショップ開催。

2018年9月30日(日)、小美玉市四季文化館みの〜れにてマタニティーコンサートが開催されました。生まれてくる新しい生命の胎教を考えて集まった妊婦の方に、BIRD-KISSも何かお手伝いできないかと考え、コウノトリをモチーフにしたベリーペイントワークショップを開催。原画はBIRD作家の大嶽氏。それをベリーペイントアーティストのCHICOさんにお手伝いいただき、1日限りのコウノトリBIRDベリーペイントワークショップが実現しました。当日参加された妊婦は8名。家族や子どもたちと一緒に記念撮影をしたり、旦那様と一緒にベリーペイントを描いて夫婦で赤ちゃんの誕生を願ったり、みなさま思い思いの願いを込めて未来の命のために祝いました。

小美玉市の住民に愛され続けるみの〜れのシンボルでありたい。

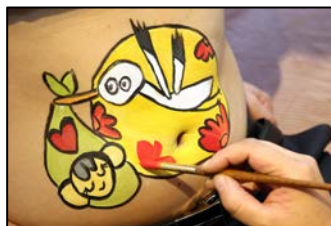
みの〜れのシンボルになっているBIRDは、小美玉市の住民のシンボルでもありたいと願っています。住民参加・住民主役のみの〜れにとって、新しい生命は宝物です。新しい住民になる赤ちゃんにも、ぜひBIRDのファンになっていただいて、一緒にみの〜れを応援していきたいと思っています。



コウノトリBIRDの3つの原画。妊婦さんのおなかと子供たちのオリジナルぬり絵缶パッチになりました。



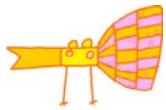
ご夫婦で参加されたり、2人の娘と付き添いの妹さんと一緒に参加されたり、さまざまな形で、ベリーペインティングを通して、これから生まれてくる赤ちゃんの誕生をお祈り致しました。



ご主人も一緒にベリーペインティング。ベリーペイントアーティストのCHICOさんと共に3人で記念写真。



妊婦のママを応援するために、オリジナルぬり絵缶パッチを作ってママへプレゼントしました。



小美玉市に文化を根付かせるために、みのり太鼓とBIRDができること。

茨城県は農作物、海産物にもめぐまれた土地です。創作和太鼓集団みのり太鼓の代表の篠原氏は、恵まれた土地には文化が根付かないので、小美玉市にぜひ文化を根付かせたいと思い、みのり太鼓を設立しました。活動拠点はみの〜れを中心に全国へ。そのシンボルとなっているのがキャラクターの「みのり太鼓BIRD」です。アートはポーダレス。小美玉市から日本へ、そして世界へと、みのり太鼓を広めていってほしいと思います。

みのり太鼓の未来を切り開いていくワークショップ参加の子どもたち。

みのり太鼓のワークショップに参加した子どもたちは、「太鼓の音って、体が震えるくらい響くんだ！」「ぼくの体より大きい！」と感動もひとしお。1日で和太鼓のとりこになってしまいました。今回のBIRDは、このみのり太鼓ワークショップで、感動をぬり絵で表現するお手伝いをしました。ワクワクをみ出した元気なぬり絵が太鼓の感動を物語ってくれています。

子どもたちの未来を応援するBIRD-KISSは、これからもみのり太鼓のシンボルとして、パートナーとして一緒に頑張っていきたいと思っています。

(※和太鼓ワークショップは、2018年12月16日、2019年1月19日、2月23日、3月23日の4回開催です。)



参加してくれた子供たちと一緒に会場に来られた小さな弟や妹たちも、みんなで元気にぬってくれました。



一瞬で子供たちの心をつかんで和太鼓の世界へ。バチの握り方、太鼓をたたくときの姿勢、太鼓の真ん中をたたくためには肘をどの角度にするかなど、難しいことも簡単にわかりやすく説明するみのり太鼓の指導者の方々。2時間後には子供たちの名演奏で締めくくりました。



みのり太鼓ワークショップ開催前の時間、間の休憩時間も、ぬり絵が楽しくてしかたない子供たち。みのり太鼓BIRDの仲間をたくさん描いてくれてありがとう。